

2025年度 北海道科学大学 入学試験問題の出題意図

選抜区分名	一般選抜【前期】1日目
科目名	国語

問題全体の出題意図

前期1日目大問1は、言語学者である田中克彦氏の文章から問題を作成しました。書き言葉においてアルファベート使用言語と表意文字である漢字使用言語とを比較しながら、社会における言語の機能や社会史的な観点から説明した文章です。それぞれの言語の特徴について、仮名と漢字を併用する中間的な言語である日本語も含め、説明を整理して構造的に読み取ることが求められる出題になっています。

問題1

大問番号	出題意図
問一	カタカナで書かれた語句の適切な漢字表記を問う問題です。同音異字の漢字の中から、正解をしっかりと区別できるかを問う問題です。
問二	本文中で抜けている一文をどこに入れるかを問う問題です。抜けている文章で提示されている例えが何を意味しているかをしっかりと理解し、どの文脈にふさわしいかを見抜く力を測りました。
問三	本文の傍線部分「大きなへだたり」について、それがどのような「へだたり」かを選択肢の中から選ぶ問題です。言語の理想と日本語の現実とのへだたりを前後の文章から理解できているかを測りました。
問四	本文の傍線部分について、「漢字」に対する認識の変化について本文から読み取れているかどうかを問う問題です。表意文字である漢字をとりまく社会的・歴史的環境の変化についての説明を読み取れているか測りました。
問五	本文の傍線部分について、その理由を七十字以内で記述する問題です。社会によって異なる「二種類」の「識字」に対する認識と理解し、それぞれを違いがわかる様に区別して説明できる力を測りました。
問六	本文の傍線部分について主に「抑圧的」という言葉の意味を本文に即して理解できているかを問う問題です。どの様な言語のどういった点が人々に対して「抑圧的」となるのか、本文中の説明から具体的に理解できているかを測りました。
問七	本文の内容と合致するものを選ぶ問題です。本文全体の流れや著者の意見を適切に読み取れているかどうか、総合的な読解力を測りました。

2025年度 北海道科学大学 入学試験問題の出題意図

選抜区分名	一般選抜【前期】1日目
科目名	国語

問題全体の出題意図

出題者の退出・転出等の理由により公表不可

問番号	出題意図
問題2	出題者の退出・転出等の理由により公表不可